

令和5年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	8 議席 番号	9 氏名	稲葉晃司 議員	1 / 2
発言項目		要 旨		答弁者
1	富士医療圏の630問題について～地域医療を守るために2023 その1～	(1)	<p>富士医療圏における救急受入れ困難事案、いわゆる630問題について、以下の点について伺う。</p> <p>① 救急要請があった際の対応はどのようにするのか。消防指令センターでオペレーターが電話を取ってから、救急隊員が現場に到着し搬送先が決まり搬送が完了するまでの流れはどのようになっているのか。また、マニュアル等はあるのか。</p> <p>② 救急搬送の現場から直接、医師に電話が繋がるホットラインや、タブレット型端末を使用し傷病者の容態を画像により確認できる仕組みなどは構築されているのか。</p> <p>③ 富士医療圏における救急受入れ困難事案が約250件あるが、富士宮市の救急困難事案はできる限り富士宮市内で解消する努力が求められると思う。この問題を市はどのように捉えているのか。また、630問題解消に向けた取組として、今、富士宮市ができることは何か。また、富士医療圏の公立病院として富士宮市立病院ができることは何か。</p> <p>④ 9月19日の環境厚生委員会において令和5年度上半期の富士宮市立病院の報告をしていただいた際に、病院長の答弁で、10月より外科医が3人減員する旨の答弁があったが、これは富士医療圏の630問題の更なる深刻化を意味するのか。併せて、産科の富士市立中央病院との分業化について触れていたが、その内容について伺う。</p> <p>⑤ 平日昼間の救急医療センターの診療開始までの時間帯が630問題の要因の一つとして挙げられているが、富士宮市医師会への協力要請などの話合いはどのようにされているのか。一次救急を医師会に担ってもらうためには補助金等の予算措置の検討は必須条件と考えるが市の見解はいかがか。</p> <p>⑥ 6月定例会で救急車両の優先出動について質問したが、富士宮市立病院の救急車に60歳以上の消防職員と救命士資格を持つ職員を配置して、年間約100件弱の病院外搬送に対応することで、常備消防における負荷の軽減につながると考えるがいかがか。</p> <p>⑦ 令和4年11月定例会の中で、「救急かけはし」に関する市民への周知について質問があったが、その後の取組及び成果について伺う。</p>	市長 副市長 病院長 関係部長
2	富士宮市の農業政策について～SAY農2023 その2～	(1)	<p>今現在行われている地域計画策定のための農業に従事する人たちとのワークショップについて伺う。</p> <p>① 農業従事者の厳しい現状から様々な意見が出されたように見受けられるが、それらの意見を踏まえて富士宮市として富士宮の農業を維持継続させていくために何に取り組んでいくのか。</p>	市長 副市長 関係部長

発言 順序	8	議席 番号	9	氏名	稲葉晃司 議員	2/2
発言項目			要 旨			答弁者
			<p>② 今定例会の補正予算で、約2億6,000万円の減額補正が示すとおり、農政に関する国の補助金は地方自治体の思うようなものとかげ離れている感は否めない。これではいくら経っても強い農業の実現は無理ではないかと思わされた。富士宮の農業が一步でも前に進むような市単独の補助金の創設を要望したい。市の考えはどうか。</p>			